

令和5年度第4回滝川警察署協議会議事概要

1 開催日時

令和6年2月27日(火) 午後3時45分から午後5時15分まで

2 開催場所

滝川警察署3階大会議室

3 出席者

(1) 協議会委員(定員8名、出席7名、欠席1名)

会 長 川原正敬

副会長 水谷壽子

委 員 鈴木親則、中野和美、大滝裕慈、林桂子、岩船浩之

(2) 滝川警察署(13名)

署 長 清水規之、

副署長 澁谷直之、分庁舎所長 五十嵐正樹、刑事生活安全官 早坂則章、地域交通官 前田勝也、

警務課長 佐々木修一郎、会計課長 斉藤伸輔、生活安全課長 菊地太一、地域課長 片岡正治、

刑事第一課長 加納慎也、刑事第二課長 小嶋龍彦、交通課長 畑中洋介、警備課長 波多野祐也

4 会議内容

(1) 会長挨拶

(2) 署長挨拶

(3) 前回提言の業務反映説明

(4) 協議事項

ア 警察を取り巻く情勢と受傷事故防止について

イ 災害警備訓練の実施結果について

5 協議事項等に関する質疑応答等

○ 前回提言の業務反映説明

【前回提言】深川滝川間の国道に発光式の矢羽根付きポールが交通事故防止に有効だが、この発光が赤と緑の2色なのを統一したり、設置を増やしたりできないものか。

【業務反映説明】当署交通課員が現場を確認し、矢羽根付きポールが道路管理者である北海道開発局札幌開発建設部滝川道路事務所が設置した「視線誘導柱」であり、赤色と緑色の発光色のものが混在すること、一部発光が暗くなっているものがあることを確認しました。前記設置者に対して、提言の内容と、現場確認結果を伝え、「点検を実施し不備があれば是正します」との回答を得、今後も道路環境改善のため情報共有をしていくことで合意しています。

【委 員】前回の協議会でお話しさせていただいた後、この話をしてくれた知人から、「警察に言ってくれたんだね。良くなっていたわ。ありがとう」と言われました。迅速に対応していただきありがとうございます。

○ 警察を取り巻く情勢と受傷事故防止について

【委 員】色々な凶悪事件があるので、術科訓練や装備品の活用が大切だと感じました。札幌のコンビニエンスストアでもひどい凶悪事件がありましたね。本当に捕まえていただけて良かったと思いました。

【委 員】この会場に展示してもらった刺股が刃物には有効だと思います。購入先などは紹介してもらえるのですか。自分が勤務する会社で何かあったとき、警察が来てくれるまでの間の防御のために設置してはどうかと考えています。

【委員】刺股を設置したら、使用方法などを指導してもらえますか。

【警察】ご依頼があれば、購入先を調べてお伝えできますし、出向いて使用方法の指導もいたします。

○ 災害警備訓練の実施結果について

【委員】色々な場合を想定して訓練をしているのですね。安心しました。

雪崩に備えた訓練を見ていて思ったのですが、助けられる立場の人への教養とか指導はありませんか。雪に埋まったとき、どうすれば良いのでしょうか。

【警察】雪崩に巻き込まれると上下が分からなくなると言われています。雪に埋まって意識がある場合は、まず呼吸を確保し、唾液の流れる方向で上下を知り、身動きできるのであれば上方向に進むと良いと言われています。

【委員】屋根の雪下ろしで雪に埋まる人がいるが、携帯電話は持っていた方が良いのですか。

【警察】屋根から落下して身動きできなくなったときなどに連絡手段は持っていた方が良いと思われます。雪山の遭難などでは位置を知る手がかりになる可能性もあります。

○ その他

【委員】熊が冬眠から覚めるシーズンになるが、熊に出くわしたときどうしたらよいか。

【警察】ヒグマは驚いたときにパニックになって襲い、走って逃げるものを追いかけて襲う習性があると言われています。出会ってしまったら、背を向けず、静かに下がって遠ざかるのが良いとされています。

【委員】自転車に乗車する人が増えるシーズンが近づいていますが、自動車を運転していて、自転車の無謀な運転が多いと感じます。自転車利用者に対する指導を強化してほしい。

【警察】これまでも、自転車利用者に対する指導は行ってきておりますが、今後さらに指導を継続して自転車利用者の交通安全意識を高めてまいります。

【委員】近隣の町でロマンス詐欺があり金融機関で振込みを阻止した事案がありました。また振込み指定がビットコインの特殊詐欺が増えており、ビットコインは金融機関で阻止することが難しい。また、石川県の地震災害現場で泥棒がでているそうです。金融機関では被災者の財産保護のために何かできないかという議論になっています。参考までです。

【警察】ありがとうございます。参考にさせていただきます。

以上

議長

印

委員

印